



フェルラ酸配合サンケアバーム

【特徴】

米ぬか由来美容ポリフェノール「**Ri:bra® フェルラ酸**」を4%配合
フェルラ酸の高い紫外線吸収効果と水で落ちにくい非水系バーム処方で、紫外線から
しっかりとお肌を守ります。

【参考処方】

処方No. UV-002

No.	原料名	表示名称	メーカー名	組成	配合目的
①	エルデュウ® SL-205	ラウロイルサルコシン イソプロピル	味の素	54.9	油剤
②	トコフェロール100	トコフェロール	日清オイリオ	0.1	酸化防止剤
③	カルコール6098	セタノール	花王	2	乳化助剤
④	Ri:bra® フェルラ酸	フェルラ酸	築野食品工業	4	機能性成分
⑤	レオパールKL2	パルミチン酸デキストリン	千葉製粉	2	増粘剤
⑥	NIKKOL Decaglyn 3-SV	トリステアリン酸ポリグリセリル-10	日光ケミカルズ	7	乳化剤
⑦	化粧品用濃グリセリン	グリセリン	花王	13	保湿剤
⑧	ジグリセリン801	ジグリセリン	阪本薬品工業	2	保湿剤
⑨	ノムコートHK-P	(バヘン酸/ エイコサン二酸) ポリグリセリル-10	日清オイリオ	3	乳化剤
⑩	精製マイクロクリスタリン ワックス	マイクロクリスタリンワックス	日興リカ	5	固化剤
⑪	TOWAX-4F3	キャンデリラロウ	東亜化成	2	固化剤
⑫	TOWAX-6F2	ヒマワリ種子ロウ	東亜化成	2	固化剤
⑬	SATINIER M5	シリカ	日揮触媒化成	3	感触改良剤

【性状】

色 : 淡黄色

【製造手順】

- (1) ①～④を80℃で加温、溶解させる。
- (2) (1)を攪拌しているところに⑤を添加し、加熱溶解させる。
- (3) ⑥～⑨を加え、加熱攪拌して均一にする。
- (4) ⑩～⑬を加え、加熱攪拌して均一にする。
- (5) 容器に注いで固まるまで冷却する。





米胚芽油GX-N配合 ノンケミカルUVクリーム

【特徴】

玄米特有の γ -オリザノール高含有のこめ油、「**Ri:bra®** 米胚芽油GX-N」を配合することでノンケミカルUVクリームのSPF向上に。

【参考処方】

処方No. UV-001

	原料名	表示名称	メーカー名	組成		配合目的
				添加	非添加	
①	精製水	水	—	31.2	31.2	溶剤
②	1,3-BG	BG	ダイセル	12	12	保湿剤
③	化粧品用濃グリセリン	グリセリン	花王	3	3	保湿剤
④	Aristoflex AVC (2% 水溶液)	(アクリロイルジメチルタウリンアンモニウム/VP) コポリマー、 α -ブタノール、水	クラリアント ジャパン	15	15	保湿剤
⑤	フェノキシトール	フェノキシエタノール	クラリアント ジャパン	0.3	0.3	防腐剤
⑥	DIF-AB-33W	酸化亜鉛、含水シリカ、 ハイドロゲンジメチコン、水、 BG、PEG-9ジメチコン	堺化学工業	14	14	紫外線散乱剤
⑦	DIS-AB-10W	酸化チタン、含水シリカ、 ハイドロゲンジメチコン、水、 BG、PEG-9ジメチコン	堺化学工業	7	7	紫外線散乱剤
⑧	PolyAquol 2W	ステアリン酸ポリグリセリル -2、ステアリン酸グリセリル、 ステアリルアルコール	Innovacos	2.5	2.5	乳化剤
⑨	エキセパールTGO	トリエチルヘキサノイン	花王	10	15	油剤
⑩	Ri:bra® 米胚芽油GX-N	コメ胚芽油	築野食品工業	5	0	機能性成分

【性状】

色：[添加] 微褐色 [非添加] 白色
pH：7.5付近

【製造手順】

- (1) ①～⑦を均一に混合し、約80℃に加熱する。
- (2) ⑧～⑩を約80℃で加熱し、溶解する。
- (3) (1)に(2)を加え、ホモミキサーで約5分間乳化する。
- (4) 45℃以下まで冷却する。





フェルラ酸分散型マルチ美白クリーム

【特徴】

米ぬか由来美容ポリフェノール「**Ri:bra® フェルラ酸**」を配合
紫外線吸収作用、抗酸化、抗炎症、皮膚フローラ改善、メラニン抑制によるマルチ美肌作用
分散させることで安定的に高配合することが可能

【参考処方】

処方No. CR-014-2

No.	製品名	表示名称	メーカー	配合量	目的
①	精製水	水	—	Up to 100	溶剤
②	1, 3-BG	BG	ダイセル	10	保湿剤
③	メチルパラベン	メチルパラベン	—	0.2	防腐剤
④	Ri:bra® フェルラ酸	フェルラ酸	築野食品工業	1.5	機能性成分
⑤	化粧品用濃グリセリン	グリセリン	花王	8	保湿剤
⑥	SIMULGEL EG QD	(アクリル酸Na/アクリロイルジメチルタウリンNa)コポリマー、イソヘキサデカン、ポリソルベート80、水、オレイン酸ソルビタン	SEPPIC	4	増粘剤
⑦	香料	—	—	q.s.	香料
⑧	着色料	—	—	q.s.	着色剤

【性状】

色:黄色
pH:5.0付近

【製造手順】

- (1) ①-③を約80℃で加温混合-(A)
- (2) ④に⑤を加え、ホモディスパーで分散(2,000rpm, 3-5min)-(B)
- (3) AにB、⑥を加えて、約80℃でホモミキサーで均一に分散(3,000rpm, 5min)
- (4) 30℃まで冷却し、⑦、⑧を加えて混合





ライストリエノール配合 透明感美容クリーム

臨床データ有り！

【特徴】

米ぬか由来透明感upエキス「**Ri:bra® ライストリエノール**」配合

抗酸化力の高いビタミンEを含有し、弾力改善、メラニン抑制等による肌の透明感の改善が期待できる。

【参考処方】

処方No. CR-009

No.	原料名	表示名称	メーカー名	組成		配合目的
				添加	非添加	
①	精製水	水	—	Up to 100	Up to 100	溶剤
②	1,3-BG	BG	ダイセル	8	8	保湿剤
③	化粧品用濃グリセリン	グリセリン	花王	5	5	保湿剤
④	メチルパラベン	メチルパラベン	—	0.2	0.2	防腐剤
⑤	Ri:bra® ライストリエノール	コメヌカエキス	築野食品工業	1	—	機能性成分
⑥	エキセパール TGO	トリエチルヘキサノイン	花王	10	10	油剤
⑦	MGS-AV	ステアリン酸 グリセリル	日光ケミカルズ	0.4	0.4	乳化剤
⑧	MGS-BSEV	ステアリン酸 グリセリル(SE)	日光ケミカルズ	0.6	0.6	乳化剤
⑨	レオドール TW-L120	ポリソルベート20	花王	0.6	0.6	乳化剤
⑩	Lanette O	セテアリルアルコール	BASF	3	3	乳化助剤
⑪	Lanette 22 NF	ベヘニルアルコール	BASF	1	1	乳化助剤
⑫	DOWSIL SH 200 C Fluid 6cSt	ジメチコン	ダウ・東レ	0.5	0.5	感触改良剤
⑬	10% クエン酸水溶液	クエン酸、水	—	適量	適量	pH調整剤

【性状】

色:[RTN添加] 白色～微黄 [RTN非添加] 白色
pH:5.5～6.0

【製造手順】

- (1) 適量の①、及び②～④を約80℃で加熱溶解し、均一にする。
- (2) ⑤～⑫を約80℃で加熱し、溶解する。
- (3) (1)に(2)を加え、ホモミキサーで約5分間乳化する。
- (4) 30℃まで冷却し、⑬を加えてpHを調製する。
- (5) ①を加え最終量に調整する。

